

第3期四谷地区協議会会議録

分科会名	お宝実行委員会	開催回	第7回
開催日	平成21年12月1日(火)		
出席者	18:30～19:00 区民 12名 職員 1名		
話し合いのテーマ	お宝募集締切の確認 パブリックコメントについて		
会議内容 主な意見	<p>1 お宝募集締切の確認 応募確認(一覧表 別紙参照) ・37点 12月1日現在 ・昭和2年の須賀神社祭礼の様子フィルム(動画)のプロジェクト上映(確認) ・鑑定会(1月2月)来会希望者2組 ・追加応募情報 料理研究家「城戸崎 愛」先生 訪問インタビュー 料理情報番組の草分け的存在。現在も自らの健康に関する体験談も交えた「食」に対する想いと「食育」の大切さを講義されている。 昔の畳屋さん店頭の写真</p> <p>その他 江戸、明治、東京重ね地図のDVDを購入した。(18,000円)</p> <p>2 パブリックコメント(仮称)文化芸術振興基本条例の制定に向けてについて ・次回12月15日第1分科会で所長より説明その後意見交換</p>		
実行委員会会議終了後 観光まちづくりアドバイザーとの意見交換会			
出席者	19:00～20:00 区民 16名 職員 1名		
	<p>講師自己紹介と観光まちづくりの事例紹介(プロジェクター使用) 以下当日の要点 観光に期待できること ・地域資源の活用が経済的波及効果をもたらし、活力あるまちづくりを期待できる。 これからの観光・NEWツーリズムのポイント ・観光を地域全体で支える。(自分たちの何を見せたいか明確にする) ・地域の隠れた話し(知的体験への誘い) ・観光リピーターの出現・地元住民の覚醒、まちの再発見 ・旅館への囲い込みへの飽き 地域の生活エリアでの交流の期待</p>		

成功へのポイントアドバイス

- ・四谷のタブラインを考える。 例 サントリー = 水と生きる
 - ・皆が楽しめる企画を検討する。
 - ・満足感を持てる内容にする。
 - ・しくみ、しかけ作り(他との差別化)を考えていく。
 - ・継続させるためにはコミュニティビジネスを視野に入れる。
- 例 長崎さるく 参加料@500円 ガイドボランティア報酬@2,000円
- ・法人資格(NPOなど)の取得 行政頼みにならない組織の構築。
 - ・時間をかけて壁にぶつかりながら推進する。
 - ・四谷の価値(らしさ)の打ち出し = 評価と協力を少しずつ得る。

まち歩きに関するアドバイス

- ・ターゲットの決定
- ・目的別に設定 見る・学ぶなど
- ・グループ人数(15名程度)
- ・2kmを2時間かけて歩く原則
- ・行政の利用あるいはコーディネーター的役割として助言をもらう。
- ・市民プロデューサー育成のハードルは低くした方がよい。

例 座学講習1回 実地研修2回 受講発表1回

まちの魅力について

歩いて楽しいまちは・・・地域の人と交流したい・・・住んでみたい

地域のデザインができる要素

例 ・美しい建物が存在する ・生活文化を感じる ・独自のイメージがある

・自分たちのアイデンティティ(想い)を伝えられる案内 ・自然環境の利用

質疑応答

Q: 四谷の豊富な資源をどのように活かせばよいのか?

A: みんなで考えて楽しいと感じられるもの(楽しい目標感)があるといい。

白地図を持って自分の目で見て書き込んでいくことも楽しい。

意匠をこらした共通サイン(観光表示板)の設置もよいと思う。

学生ガイドの活用(牽いてはガイド本を出せるようになった例もある)

Q: 「観光」は四谷にそぐわない気がする。むしろ「まち歩き」が都会のまちには似合うと思う。あえて「観光」とする意味は?

A: 「観光」という言葉には、土地の誇りを示す意味がある。生涯学習的なまち歩きという観点でのまち歩きを望むようであれば確かに「観光」はそぐわない。人それぞれの意見があってよいと思います。しかし、観光まちづくりのアドバイスの要望として本日伺っている。生涯学習の意味合いに「交流」をプラスすることが「観光」。経済的インパクトを持ちながら地域社会、地域文化を語り自分のまちの魅力をPRしファンとなってもらおう効果を持つところに「観光」の意味があります。

	<p>Q:長崎さるく博では外国人向けのガイドもあったのですか？</p> <p>A:さるくでは、あまりありません。それは海外に向けたプロモーションを積極的に行っていなかったことも理由です。ニーズ(要望)はプロモーション次第。熊野古道のように海外個人客向けアプローチ例もあります。</p> <p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日のレクチャーはわかりやすかった。あらためてまちの魅力のキーワードを意見交換したい。四谷の価値=らしさを見つめ直すきっかけになる。 ・まちの変化にも着目したい。(昔のまちなみを感じながら) ・鬼平コース、お寺(お岩さん)など、様々なコースが考えられると思う。 ・分科会外の「観光」に興味を持つ地域の人とも考えていきたい。 ・協議会広報誌を使い四谷をPRしていけると考える。 ・四谷にふさわしい観光ガイドを検討していきたい。 ・商店街、商工会、住民が協力していけるとよいと思う。 <p>次回の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回12月15日の分科会で意見交換をした上で、次回の日程を決定。あらためて事務局より連絡する。
<p>次月日程</p>	<p>【お宝さがし実行委員会】平成21年1月12日(火)18:30～鑑定会 四谷特別出張所 会議室</p> <p>【第1分科会】平成21年1月19日(火)18:30～ 四谷特別出張所 会議室</p>